

英語	解答時間：択一式は3科目で90分、記述式は100分		
択一式・記述式ともにスピードと語彙力を要する問題である。		空所補充	内容説明
難易度	4 / 5	スピード	5 / 5

設問別分析表

大問	区分	内容	解答方式	難易度	
択一式	長文読解	長文1題に対し15個の設問がある。選択問題なので記述式に比べれば解きやすいが、3科目で90分ということを考慮すると、早いスピードで正しい選択肢を選ばなければいけない難易度の高い問題である。単語がわからなくても、選択肢から推測するのも一つの手である。	選択肢	やや難	
記述式	1	長文読解	問1-1、問1-2はともに英文内容をしっかりと理解していないと解きづらい問題であり、厄介と感じる人も多くいるだろう。問1-3は選択肢有りの空所補充であるが、それぞれの場所の品詞を考えれば、正解の選択肢は絞れてくる。	記述 & 選択肢	やや難
	2	長文読解	問2-1は下線部和訳であるが、非常に訳しにくい部分である。so～that…を「とても～なので…」と訳すと意味が通じないので、「…なほど～」で訳すとよい。問2-2は空所補充であるが、英文内容である「ジョーク」を理解していなければ解けない。	記述	やや難
	3	内容説明	問3-1は下線部の直後に答えが書いてある。そこを訳せるかがカギである。問3-2は直後のダッシュ内が答えである。この大問は全文読まずとも答えが出せるので、ここで時間短縮ができたかどうかは全体の点数に影響するだろう。	記述	易
	4	英文並び替え	英文はトピックセンテンスが第1文に来るのが決まりであるので、まずはそれを選べるかがカギとなる。その後トピックセンテンスを支持する英文が来て、補足を述べる、というのが一般的な「英文」である。それを理解していれば解けるだろう。接続詞や代名詞もヒントにするといい。	記号	標準
	5	長文読解	問5-1は第2段落第2文に答えが書いてある。英単語が難しいので対策は必須であろう。問5-2は直訳から普段病院で使われる言葉に治せるかがポイント。問5-3は第2段落最終文のincluding以下に答えがある。	記述	やや易
	6	空所補充	語彙力や文法力を問う空所補充問題である。基礎的な力があれば完答できるはずである。合格するには、ここを落とさずに得点源にしたいところ。	記述	易

傾向と対策

語彙力を必要とする英文出題が多いため、医学英語を含めた語彙力の形成が必要である。科学系の英文が多いため、ネット上で無料で読める英語科学誌などを日頃から読んで慣れる必要があるだろう。試験時間を考慮して、短時間で英文を把握する力を養うために普段から時間を気にしながら解く訓練をすると良い。